

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	理科教育支援員配置事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させるため、小学校の指定校に「補充学習や発展的な学習など、学力向上等のための学校サポーター」として、理科支援員を配置し、理科授業の支援を行う。主に5、6学年の授業を支援対象とする。				
29年度概要	児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させるため、小学校の指定校（5校）に「補充学習や発展的な学習など、学力向上等のための学校サポーター」として、理科教育支援員を配置し、理科授業の支援を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


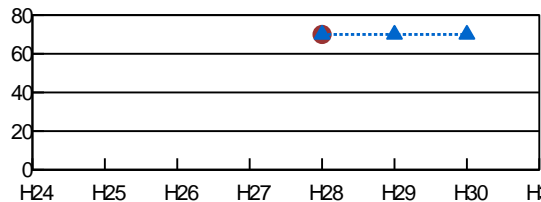
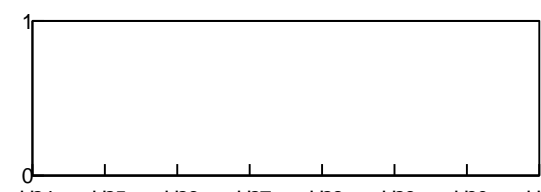
【事業の目的】

対象（何を）	理科教育支援員配置指定校となった小学校
意図（どのような状態にしたいか）	小学校理科学習における観察・実験の充実及び教員の理科指導力の向上を図る。 理科授業への興味の上昇比率

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
1校当たり派遣時間数	時間			350	350	350

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		指導者アンケートにおける、理科教育に関する児童の興味の上昇	%	目標値			70	70
			実績値			70		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 理科教育の底上げの必要性は、全国的に見ても高く、本事業は、理科教育に関する児童の興味喚起に効果を発揮していると考えられる。  （目標達成度）			 （達成度） 100.0% 35点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）			 （達成度）				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,301	7,367	7,431	7,568
（事業費）	[円]	3,610	3,528	3,505	3,642
（職員人件費）	[円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めることに十分に貢献している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 配置希望校に対してさらに配置を行うことにより、向上できる可能性はある。			